

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	北海道テレコム懇談会			代表者名	山本 強
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	事務局	連絡先電話番号	-
担当者役職	事務局長	担当者氏名	酒井 裕司	連絡先E-mail	
住所	060-0061 北海道札幌市中央区南1条西2丁目18 IKEUCHI GATE 4F IKEUCHI Lab				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	北海道総合通信局	連絡先部署	情報通信部情報通信振興課		
担当者氏名	奥野 典子	連絡先電話番号	011-709-2311	連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	普及啓発事業		
概要	10/1開催予定のセミナーにおける講演及びslidoを活用したクロストークセッションにてファシリテーターを依頼したい。またセミナー前にクロストークセッションに参加するメンバーと議論に係る方向性等の事前打合せを開催する予定であるため、その場においてもアドバイスをいただきたい。				
支援を求める分野	オープンデータ EBPM				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年9月11日	事前打合せ(オンライン)	15時00分	16時00分	
			活動時間（分）	60	
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	当日の効果的なクロストークセッション実施に向け、slidoの効果的な活用方法や、発散しがちなトークセッションについて具体的に9マスでのキーワードを進めるなどのアイデアを出していただき、円滑な事前打合せをすることができたため。特に、今回は、初のslidoコメンテーターというスタイルでの登壇者を配置したトークセッションのため、内容と運営に関する部分のアドバイスもいただけて、大変有難いものでした。
アドバイザーへの要望事項	特にございません

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	8人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	4		その他(学生など)
				4

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的に記入下さい）	セミナーのプログラム中のクロストークセッションにおいて、「住民のためのDXとは」という包括的なテーマという難しさ、初の試みであるSlidoコメンテーターという登壇者を含めたゲストスピーカーの設定のため進め方や着地点について、内容と方法に調整をする必要があった。
支援により目指す成果（具体的に記入下さい）	聴講者にもslidoに書き込ませるなど、能動的な参加を促進するような問いかけ、トークの方向性、スタイル、時間配分、各種の手法など、これまでの経験をもとにした事務局、パネリストへのアドバイスによりクロストークセッションの内容を充実させる事前調整をすること。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	「住民のためのDXとは」という包括的な内容でのトークの難しさを踏まえ、9マスにキーワードを提示し、スピーカーも聴衆も迷子にならないようにファシリテートする進め方のアドバイスを受けた。当該アドバイスにもとづき、キーワードは、ゲストスピーカーと調整することとした。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	前段の講演との関連性やセミナー効果を高めるための手法の知見などが得られ、着地点が定まった。また、当日のファシリテーターの雰囲気づくりも効果的であった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	9マスのトーク内容・キーワード	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事前打ち合わせのためアンケートは実施していない	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
4-4. 事業の最終的な目指す姿	クロストークセッションを通じて、自治体・地域社会DX推進の機運醸成と聴講者の推進意欲の向上	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。
日時:2024年9月11日 15:00~16:00 Microsoft Teams 会議 ID: 476 245 903 305 出席者: 地域情報化アドバイザー 下山紗代子 氏、 北海道大学大学院情報科学研究科 准教授 山下倫央氏、 デジタル庁 データプロダクトマネージャー 丸田之人氏 北見市総務部人材育成主幹 及川慎太郎氏 音更町情報システム課長 山田和弘氏 八雲町政策推進課情報政策係長 中村達哉氏 北海道テレコム懇談会庶務 今村、奥野、北島
自己紹介の後、当日の会場レイアウト、Slido活用ための契約状況をもとに、トークセッションの流れ、時間配分案、トーク内容・方向性について議論を行った。 ファシリテーターの立場から、slidoのリアルタイム性を活かした活用方法や、管理方法などのアドバイスをいただいた。 また、トークテーマが「住民のためのDXとは」という、包含的なものであるため、「9マス」を使い、トークキーワードや内容を示すことでスピーカー及び聴衆が迷わない方法についてアドバイスを示された。 プレストとして出されたものは以下のとおりであり、おって、完成させることを確認。 # デジタルアレルギー # TTP (徹底的にバク) # 自治体でAI活用をどう進めるか # あのとときこれをやっておいてよかった また、当日登壇時の投影用の自己紹介等を含んだ資料は、16:9のppt1枚で準備しファシリテータに事前提出することを確認した。

※なお、オンライン会議のため画面のキャプチャーについては撮影を失念したため添付できない旨を申し添えます。